

授業科目

日常生活活動学

担当教員名 小林 量作	対象学年	2	対象学科	理学
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	○	◎

授業の概要

本授業では、日常生活活動（ADL）の概念、含まれる範囲、評価法、起居・移動動作、移乗動作、歩行様式、介助法、福祉用具についての知識、技術について講義・演習を行う。

授業の目的

臨床実習や新人理学療法士として必要とされる基本的ADLの知識・技術を修得し、起居・移動動作、移乗動作の指導、介助が実施できるようになる。

学習目標

1. ADL概念、範囲、各種評価法の特徴を理解している。
2. 起居・移動動作、移乗動作、身の回り動作、福祉用具について理解している。
3. ADL聴取の技術、起居動作、移乗動作、車いす操作技術を修得している。
4. 歩行様式、応用歩行、階段昇降の指導、介助方法を修得している。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	ADLの概念、歴史、範囲、分類、QOLとの関係について	講義	小林 量作
2	ADL評価1（総論、各種評価の名称、特徴）	講義	小林 量作
3	ADL評価2（総論、各種評価の名称、特徴）	講義	小林 量作
4	身の回り動作（食事、排泄、入浴など）の内容、特徴	講義	小林 量作
5	起居動作1（寝返り、起座、起立）	講義	小林 量作
6	起居動作2（応用的動作）	講義	小林 量作
7	移動動作1（平地歩行、応用歩行）	講義	小林 量作
8	移動動作2（歩行補助具と歩行、階段昇降）	講義	小林 量作
9	福祉用具の種類、名称、特徴について	講義	小林 量作
10	起居動作の実際1（寝返り、起座、起立）	講義・演習	小林 量作 他
11	起居動作の実際2（応用的動作）	講義・演習	小林 量作 他
12	移乗動作の実際1（介助方法）	講義・演習	小林 量作 他
13	移乗動作の実際2（車いす移乗）	講義・演習	小林 量作 他
14	移動動作（平地歩行、応用歩行、歩行補助具）	講義・演習	小林 量作 他
15	移動動作（車いす駆動、介助方法）	講義・演習	小林 量作 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	日常生活活動学・生活環境学（第4版）	鶴見隆正，編、隆島研吾，編	医学書院	2012年	5,670円	
参考書						
その他の資料						

評価方法

ミニ試験、実技試験、期末試験

履修上の留意点

演習では実習できる服装で出席する

オフィスアワー・連絡先

小林：研究室 E203、メールアドレス ryo-koba@nuhw.ac.jp、オフィスアワー 月・火・木の17:00～18:00